



第 107 号
 発行人
 (一財) 福井県剣道連盟
 会長 片山 外一
 事務局
 〒910-0015 福井市二の宮2丁目24-18
 サンライズ二の宮 1-B
 TEL・FAX (0776)28-6616
 メール fkikendo@herb.ocn.ne.jp

(一財)福井県剣道連盟 令和二年度新体制発足

(二財) 福井県剣道連盟の令和二年度第一回理事
 会が六月十三日(土)、福井県立武道館会議室で開
 催され、会長以下新役員が決まりました。



(一財) 福井県剣道連盟

会長 片山 外一
かた やま ほか いち

ご挨拶

令和二年度が始まり、福井県
 剣道連盟も新体制のもとで事業
 をスタートする事となりました
 ので一言ご挨拶申し上げます。

先ず、九州を中心とした豪雨
 災害で被災された皆様にお見舞
 いとお悔やみを申し上げます。
 熊本城もようやく地震の被害か
 ら再興されたと聞いた矢先でし
 たが、全国的に一昨年来の自然

災害続きで、誠に大変な時代に
 なったものと思わざるを得ませ
 ん。

加えて新型コロナウイルス感
 染症で世界中が危機に陥ってお
 り、今日も感染者数、死亡者数
 は増加しつつあるようです。そ
 の影響は甚大であり、既に世界
 的な大不況にもなっております。
 スポーツの世界も他聞に漏れ

ず大変な影響を被っており、オ
 リンピックの延期や国体の中止
 などご承知の通りであります。
 剣道競技におきましては稽古や
 試合の停止状態でありましたが、
 六月十日より感染拡大予防ガイ
 ドラインに従っての稽古再開に
 やつとこぎ着けた所です。

さて今年の我々の事業目標で
 ある、子供達の剣道競技普及と
 女性剣士への応援活動は、この
 ウイズコロナ、ニューノーマル
 の状況下で行わなければなりま
 せん。連盟の総務企画運営部で
 は既に具体案を策定中でありま
 す。苦境の中であっても剣道競
 技の伝統を継続、発展出来るよ
 う頑張りたいと存じますので、
 会員各位のご協力をお願い申し
 上げます。

「月刊剣窓7月号」國學院大學
 植原吉朗教授の巻頭言で、
 「早朝ランニングで出くわす小学
 生たちがいる。彼らも自分なり
 に今できることを模索している
 のだろう。この国の将来は明る
 いと確信する」とありました。
 誠に同感の至りであります。

■ 県剣連 新役員紹介

◎副会長

相模利朗
さがみ としろう
 福井地区剣道連盟、教士八段



◎副会長

小西清光
こにし きよみつ
 三方地区剣道連盟、教士七段



◎副会長

北野左京
きたの さきょう
 丹生地区剣道連盟、錬士五段



◎副会長

栃本 正道

福井地区剣道連盟、
教士七段



◎副会長

河越 純二

福井地区剣道連盟、
教士七段



◎専務理事

西川 謙

南条地区剣道連盟、
教士七段



◎常務理事、事務局長

堀江 範雄

坂井地区剣道連盟、
教士八段



◎常務理事、事務局次長

坂本 裕一郎

福井地区剣道連盟、
錬士六段



◎常務理事、事務局次長

山本 英俊

福井地区剣道連盟、
教士七段



◎理事

川野 学

福井地区剣道連盟、
教士八段



◎理事

岩本 卓也

坂井地区剣道連盟、
教士八段



◎理事

柳原 潤一郎

福井地区剣道連盟、
教士七段



◎理事

岡田 要

坂井地区剣道連盟、
教士七段



◎理事

上嶋 啓芳

敦賀地区剣道連盟、
教士七段



◎理事

堀江 ユミ

坂井地区剣道連盟、
錬士七段



◎理事

齋藤 佳男

福井地区剣道連盟、全剣連居合道五段



◎理事

道内 由佳里

福井地区剣道連盟、教士七段



◎理事

松永 毅

坂井地区剣道連盟、教士七段



◎理事

中村 英紀

敦賀地区剣道連盟、教士七段



◎理事

塚田 直人

鯖江地区剣道連盟、錬士七段



◎監事

前田 純夫

坂井地区剣道連盟、教士七段



◎監事

林 茂夫

福井地区剣道連盟、教士七段



令和二年度 各部・委員会の業務内容、活動計画・取り組み

■総務企画運営部

部長 西川 謙

【業務内容】

連盟事業等の運営全般、各部間の連絡調整、対外組織との連絡調整、法規整備、綱紀安全、諸問題への対応、新企画の立案。

【活動計画・取り組み】

- ①普及部の創設と活動支援により、剣道人口拡大へ取り組む。
- ②財務健全化に向けて収入増を図るための取り組みを推進する。
- ③新型コロナウイルス感染症拡大予防に取り組む。

■普及部

部長 山本 英俊

【業務内容】

剣道の楽しさや魅力を体験会や映像で発信し、特に幼少期およびその保護者の新規の剣道人口を獲得する。また過去に剣道を経験した方の稽古再開を支援する。

【活動計画・取り組み】

小学生の県大会時や女性剣士の普及活動および県のスポーツイベントに合わせて「剣道体験コーナー」を開設し、各地区の剣道教室を紹介する。普及活動のPR映像を作成し、ホームページに掲載する。

■強化・選考部

部長 柳原 潤一郎

【業務内容】

少年委員会、中学委員会、高校委員会、成年委員会の四つの委員会を統括し、各委員会における福井県代表選手の強化、ならびに選手選考に関する業務を担当。

【活動計画・取り組み】

各委員会とも全日本都道府県対抗優勝大会の入賞、北信越国体の優勝、ならびに本国体5位入賞、全日本選手権入賞を目標としていたが、団体戦は全ての大会が中止となったため、

来年度大会に向けた強化計画に変更し、目標達成に向けた強化練習に取り組んでいく。

■事業部

部長 岡田 要

【業務内容】

県剣道連盟主催の各大会の計画ならびに運営。

【活動計画・取り組み】

- ① 県知事杯県剣道選手権大会の開催 ※今年度は中止
- ② 県民スポーツ祭（一般）の開催 ※今年度は中止
- ③ 福井県剣道大会（一般）の開催 ※今年度は中止
- ④ 審判法講習会（全剣連）の開催 ※今年度は中止

■審査部

部長 川野 学

【業務内容】

年4回の日本剣道形講習会並びに段位審査会、剣道昇段審査研究会（四段以上）の開催。

【活動計画・取り組み】

段位制度は、剣道の普及・発展に重要な役割を果たしたが、今後も剣道の奨励と発展の大きな柱のひとつとして充実させていくことが審査

部会の使命と考える。様々な情勢を見ながら、日本剣道形講習会並びに昇段審査の充実と合理化を進め、審査者の立場に配慮して公正かつ円滑な運営を目標とする。

■広報部

部長 上嶋 啓芳

【業務内容】

年4回の「剣道だより」発行、ホームページの管理、大会・行事開催に係る報道機関へのお知らせ（取材依頼）、取材対応、結果連絡等。

【活動計画・取り組み】

主催大会等の結果速報、後援の各地区連盟大会の結果掲載、各地区・団体等ホームページ・SNS等とリンクなど、ホームページの充実を図る。リニューアルも検討する。

■女性部

部長 堀江 ユミ

【業務内容】

資質向上の研修や、女性剣士が参加しやすい環境づくりと、女性剣士の人口拡大を目的とした活動を行う。

【活動計画・取り組み】

①七月二十三日（木）県立武道館多種目競技場で、指導法伝達講習会、稽古会を開催

② 女性剣士稽古会の実施
③ 子供から大人までの稽古会の開催と普及活動の実施

■居合道部

部長 玉村 伸治

【業務内容】

- ① 定例稽古会の実施
- ・ 県立武道館 毎週火曜日・木曜日
- ・ 越前市武道館 毎週日曜日
- ・ 越前市神山小体育館 毎週月曜日
- ・ 大野市B&G海洋センター 毎週水曜日
- ② 合同稽古・審判講習会の実施 9月、2月 越前市武道館

【活動計画・取り組み】

- ① 昇段審査の受審
- ・ 八月 六段審査（京都）、五段以下審査（石川）、十一月 六段審査（東京）
- ② 新規入門者の発掘
- ・ 市広報誌による募集（越前市スポーツ教室）
- ・ 口コミ活動による勧誘
- ③ 居合道一級審査会の実施
- ・ 三月 越前市剣連

■成年委員会

委員長 柳原 潤一郎

【業務内容】

全日本都道府県対抗剣道優勝大会、

北信越国体（女子）、本国体、全日本選手権等に向けて強化選手を指定し、強化練習や遠征・合宿を通して選手強化を図り、代表選手を選考する。

【活動計画・取り組み】

都道府県大会、鹿児島国体の入賞を目標として月1回の強化練習ならびに4〜5回の県外遠征を計画していたが、コロナウイルス感染症の影響で全て中止となった。来年度の各種大会における上位入賞を目標として、八月より毎月1回（基本的に第2土曜日）の定例強化練習を再開する予定である。県外遠征や合宿開催の目処は立っておらず、全日本剣道連盟の指針やガイドライン等に従いながら稽古を継続し、実施可能な日を待ちたい。

■高校委員会

委員長 松永 毅

【業務内容】

国体に向けた高校生の強化と選手選考を中心に活動する。まずは北信越国体での優勝を目標に、県内合宿や県外遠征などを計画し実行していきたい。各高校で剣道部の廃部・休部や部員数の減少が続いている。剣道人口減少を食い止めるための方策を委員とともに考えていく。

【活動計画・取り組み】
来年度男女アベックで本国体に出場を目標とする。

■ 中学委員会

委員長 中 村 英 紀

【業務内容】

- ① 中学生の競技力向上
- ② 中学生の底辺拡大
- ③ 中学生指導者の指導力と審判技能向上
- ④ 生涯剣道への土台づくり（高校剣道へのステップ）

【活動計画・取り組み】

- ① 目標 令和3年度全日本都道府県対抗少年剣道大会ベスト8
- ② 強化指定選手による毎月1回の強化稽古（嶺北・嶺南会場 年8回）
- ③ 強化指定選手による強化合宿、県外強化遠征
- ④ 県内中学生の強化練習会
- ⑤ 中学生指導者の審判講習会

■ 少年委員会

委員長 塚 田 直 人

【業務内容】

県少年剣道錬成大会の開催（十二月十三日予定）、県ジュニア育成強化剣道大会の開催（二〇二二年二月予定）の開催、ジュニア育成強化稽

古会（月1回）の開催。※変更もあり

【活動計画・取り組み】

今年度前半の行事が中止になったが、今予定されている稽古会、大会を開催し、少年剣士たちが剣道を通じて交流を深め、剣道を楽しむことができる場を作ることが目標に計画していきたい。

■ 剣道連盟事務局

事務局長 堀 江 範 雄

【業務内容】

剣道の存続危機に陥ることのないよう、全日本剣道連盟と地区剣道連盟及び他競技団体等と連携をとり、剣道の伝統文化を後世に残すことに尽力していく。現在、新型コロナウイルス感染症の影響により、本来の剣道連盟事業計画を変更しつつも、各種大会及び講習会等が円滑に実施されるよう推進していく。

【活動計画・取り組み】

年度内に数回、各地区剣道連盟の事務局長会議を開催し、県剣道連盟からお願い、連絡事項及び各地区剣道連盟の活動状況報告や、要望等を吸い上げて、活性のある事務局にしていきたい。

みんなの広場

豊 剣 道 教 室

豊剣道教室は昭和62年に設立し、約30年、地域の子供たちの育成に取り組んできました。現在は小学生7名、中学生7名と少数ながら週4回の稽古に励んでいます。

日々の稽古は、1時間半の短い稽古ですが、体力作り、足さばき、基礎練習、応じ技、打ち込みをメインに行っています。普段は小学生の稽古ですが、中学生も稽古に参加してくれるときは、小学生を指導してくれたり、中学生同士での稽古も行ったりと切磋琢磨しています。中学生が学年の下の子の面倒を見てくれることで、子ども同士年齢の広いつながりができているのがこの教室のよい所です。

また当教室は道場連盟にも加盟しているため、年間を通して多くの練習会や試合に参加させてもらっています。試合を通して、どうすれば自分の納得のいく剣道ができるかを考える力がつき、子どもたちには大きな刺激になっています。そして、試合の中でしか学べないこともたくさん

剣道部・クラブ紹介

んあります。子どもたちには、今のうちにしかできない経験を積み、多くのことを吸収してほしいと思っています。

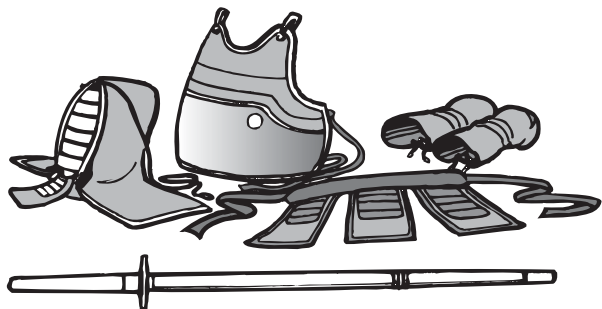
当教室の願いは、剣道が好きになってくれること、剣道を通して人間と道を長く続けてもらえる子どもたちを育てることです。剣道をやったことが自分の生きる一つの柱となり、再び豊剣道教室で剣道してくれと嬉しい限りです。



剣道 称号段位合格者

令和二年五月六日(祝)
於 京都市

- 剣道教士 竹内 健 (坂井地区)
- 剣道教士 中西 尚 (三方地区)
- 剣道錬士 志尾 武章 (坂井地区)
- 剣道錬士 八幡 喜己 (福井地区)
- 剣道錬士 北島 弘治 (坂井地区)
- 剣道錬士 三崎 良治 (越前地区)



女性剣士の部屋

ペンリレー

私が剣道を始めたのは小学二年で、父が指導する道場へ通った。当時、周りは男子ばかり、身体も小さい私は竹刀や防具が大変重く感じられ、理由をつけては面を外し竹刀の手入れに励んでいた。そんな私が、中学校では迷わず剣道部に入部。初めての試合、一年女子個人の部でなんと優勝を果たしてしまうのである。そこから剣道が楽しくなり、熱心に三年間部活動に励んだ。

天皇皇后両陛下お越しの際は、団体戦の先鋒で出場し、審判の父、コート主任の母とともに「剣道一家天覧剣道」と新聞に取り上げられ、嬉し恥ずかし記念となった。

中学三年のときには、経験者2人ながら、チームワークで決勝トーナメント2勝1敗が3チームの中、得本差で全国大会出場を決めた。あの時の感動は、一生涯私を勇気づけてくれるものだ。

高校から大人になるまで剣道から遠ざかっていたが、年の離れた妹を道場へ送迎するようになり、妹の全国大会出場や県の代表として頑張る姿をきっかけに剣道を再開した。基本打ちを中心に稽古に励み、県民スポーツ祭に出場したり、昇段のご縁も頂いたりした。東京で稽古に励む弟も昇段を続け、親子で20段に到達。

福井市 和多田 ひとえ

刺激をしあいながら、家族二世代で剣道を楽しんでいる。

剣道一家の血が騒いだのか、小学二年と五年の娘も自ら剣道を始め、楽しいひと時が訪れる。試合後には家族に動画を送ってアドバイスをもらっている。

新型コロナウイルスによる自粛生活が続く中、ある動画で得た練習を実践している。バランスボールに乗りながら素振りをするもので、体幹のない私は、2、3回でボールごと転がってしまうが、娘たちはさすが体幹があるようで、どんどん上達。これまたどうだとばかりに動画を送り合い、ステイホームを剣道を通して楽しんでいる。

以上、私の剣道人生と三世代にわたる剣道ライフ、まだまだ楽しみは続きそうです！



【福井県剣道連盟事務局に質問などをお寄せください】

宛先 福井県剣道連盟 〒910-0015 福井市二の宮2丁目24-18 サンライズ二の宮1-B
メールアドレス fkikendo@herb.ocn.ne.jp TEL・FAX(0776)28-6616